

契約書

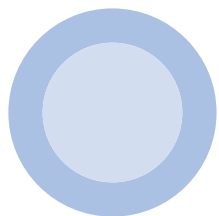
契約書

契約書



**あなたにふりかかるのは
明日かもしれない！**

トラブル回避の方法



電子マネーと
クレジットカード
について



オンライン
ゲーム



制作

中京大学法学部
杉島ゼミ

マルチ商法

契約を解消しようと思ったら、クーリング・オフを！

●はがきの書き方

契約解除通知書

契約年月日 平成○年○月○日

商品名 ○○○○

契約金額 ○○○○円

販売者 ○○○○株式会社

☐営業所

担当者△△△△

上記日付の契約を解除します。

平成○年○月○日

○市○町○丁目○番○号

氏名 ○○○○

郵便はがき



○市○区○町
○株式会社 御中

はがきは、コピーをとって、簡易書留など証拠の残る方法で出しましょう。

●マルチ商法以外でクーリング・オフができる場合（特定商取引法）

取引の形態	クーリング・オフ期間
訪問販売（キャッチ・セールス、アポイントメント・セールス等） 特定継続的役務提供（エステ、外国語会話教室、PC教室等） 電話勧誘販売、訪問購入	8日間
業務提供誘引販売取引（内職・モニター商法等）	20日間

困った時は、消費生活相談窓口へ連絡を！

●相談窓口

名古屋市内在住・在勤・在学の方は

名古屋市消費生活センター

■ 平日（祝日・年末年始は除く）

受付時間：午前9時～午後4時15分

●消費生活相談 052-222-9671

●架空請求ホットダイヤル 052-222-9674

※有料サイト利用料請求や架空請求ハガキなど、不当な請求に関する相談専用

●サラ金・多重債務特別相談 052-223-3160

■ 土曜日・日曜日（祝日・年末年始は除く）

受付時間：午前9時～午後4時15分

●土・日テレフォン相談 052-222-9690

住所：名古屋市中区栄1丁目23番13号 伏見ライフプラザ11階
PCアドレス：<http://www.seikatsu.city.nagoya.jp>

最寄りの消費生活相談窓口がわからない方は

●消費者ホットライン 0570-064-370

※お近くの消費生活センターもしくは国民生活センターにつながります。



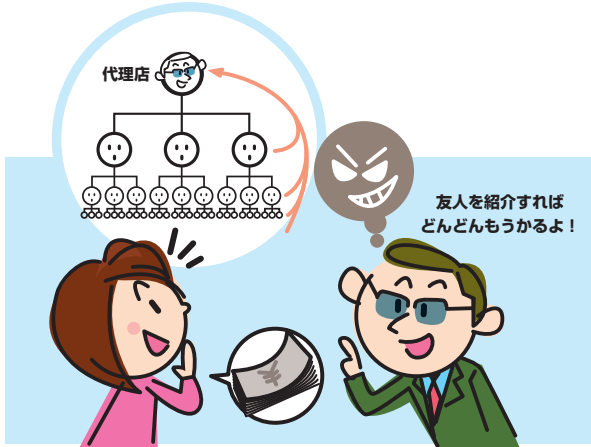
名古屋市消費生活センター
マスコットキャラクター
「コアラのハッピー」

名古屋市「大学等への消費者啓発委託」事業により作成したものです。

マルチ商法

●マルチ商法とは

商品やサービスを契約して会員となり、自分が買い手を探し、次々に販売組織に加入させ、ピラミッド式に拡大させていく商法です。しかし、成果を上げることはできず、最終的に借金ができ被害者となるだけでなく、加害者となり友人、親類との関係が壊れるケースが多いです。



友人からの儲け話



●マルチ商法の「対策」

甘い言葉に注意する!!!

簡単にもうけられるよ！ 紹介するだけでもうけられるよ！

さらに…

マルチ商法じゃないよ、“ネットワークビジネス”
“サイドビジネス”だよ。 という誘いに注意！

夢はありますか？

定例の集会（パーティー、会議など）に参加してほしい。

ちょうど近くに知り合いが来てるから呼んでいい？

など、言葉巧みに誘導してくる！

信頼している人からの誘いでもすぐに返事をしてはいけない!!!

●マルチ商法とねずみ講

マルチ商法 商品販売やサービス契約が目的。特定商取引法において消費者被害を防止するための規制がある。

ねずみ講 商品販売等が目的ではなく、下位の会員から徴収した**金品**を上位の会員に分配するのが目的。無限連鎖講の防止に関する法律で禁止されている。

Ex. 1 人が 2 人勧誘すると…

27 代目で日本の人口を超えることに！

日本の人口…1 億 2729 万人（2013 年現在）

ねずみ講はいずれ破たんすることは明らか！

●クーリング・オフ

契約書面を受け取った日を含めて**20日以内**であれば一方的に無条件で契約を解除することができる。

★クーリング・オフをする時のポイント

- ・必ずはがきなどの**書面**で事業者へ通知する。
- ・コピーをとって**証拠を残し**、特定記録郵便や簡易書留等の**出した日付がわかる方法で出す**。
- ・クレジットカードを利用した場合はクレジット会社にも通知を出す。

※クーリング・オフは、はがきなどを通知した時に効力が発生する(発信主義)

★はがきの書き方は裏表紙にて→

これ以外にも中途解約制度があります。

契約者が未成年者の場合、未成年者取消権が使える場合があります。

詳しくは消費生活センターへ！

電子マネーとクレジットカードについて

～気を付けて！知っているつもりが落とし穴～

電子マネーとは

金銭に似た価値として認められた電子情報を、電子機器に記録させ、その情報の移転によって支払いを終わらせるのに使われているよ。

電車料金の支払いに利用できる交通系電子マネーと買い物に利用できる流通系電子マネーがあり、現金での支払いに比べてスピーディーで便利だよ。

●決済方式の分類

プリペイド（前払い）方式

事前に入金し、電子マネーにチャージされた分だけ利用できる。

ポストペイ（後払い）方式

あらかじめクレジットカード会社などの契約が必要。
電子マネー利用後に金融口座から利用金額が引き落とされる。

オートチャージ

電子マネーのチャージが一定額を下回ると、自動的にクレジットカードや金融口座からチャージが補充される。

●紛失や盗難時の対応

補償されるのは記名式！

- ・記名式は入会時に氏名、住所、電話番号などを発行会社に登録したもの。
- *交通系電子マネーは無記名式と記名式の両方あるよ。

返金される金額は利用停止時の残金！

- ・紛失したときは、すぐに発行会社（交通系なら駅の窓口）に連絡すれば停止。
- *ただし、種類によっては連絡から利用停止までに時間がかかるものもある。
- 利用停止までに使われた金額は**補償されない**。

●使用上の注意点は？

- ポストペイやオートチャージは**使った金額が目に見えないため**、使いすぎてしまわないように注意！
- 一度チャージしたものは現金化が**できない**！
- 複数枚**の電子マネーを所持する場合には同じ財布や定期入れに収納して、改札口で読み取らせた場合、**エラーが発生**することがあるので、カードごとに**分けて持つ**とよい！

クレジットカードとは

月に一度の締切日を設けて、その間の利用分を**まとめて所定の支払日に決済する支払い手段のことだよ**。

このカードを手に入れるためには**カード会社に一定の信用があると認められる必要があるよ**。

●信用してもらうために必要なこと

所定の日に支払えることが必要で審査項目には三つあるよ。

収入に関する審査 住居に関する審査 個人情報

●主な支払方法の種類

一括払い、ボーナス一括払い、分割払い、リボルビング払いの四つがあるよ。

	メリット	デメリット
一括払い	返済額の把握がしやすい	返済額が大きい
ボーナス一括払い	高額なものでも一括で払いやすい	時期によって返済時期が固定される
分割払い	返済が一定のため家計の計画が立てやすい	何回も利用すると返済額が上乗せされていく
リボルビング払い	毎月の返済額を決めておける	返済金額の把握が難しい

※一括払いやボーナス一括払いには一般的には手数料がかからないけど…

**分割払いやリボルビング払いは手数料がかかってしまうんだ！
返済額が多くなるよ！**

さらに、リボルビング払いはどれだけカードを利用しても毎月の返済額は一定…
**返済残額が把握しにくく、
いつまでたっても返済が終わらない危険性もあるんだ！！**

●カード利用の禁止行為

クレジットカードは他人に貸さない！

クレジットカードを他人に貸すことはクレジット不正利用となるよ



規約をしっかりと読もう

責任がカードの名義人に問われることになる。

ショッピング枠の現金化はしないこと！

クレジットの後払いという特性を生かして商品券など（劣化しないもの）を手に入れ、それを買入れ・転売などの方法で現金化すること



大変危険な取引

一部の業者が資金に困ったカード利用者に現金化を勧誘してくることがあるけど、カード会社の規約違反になるうえ、
犯罪や思わぬトラブルに巻き込まれることにもなるんだ！！

オンラインゲーム

●現 状

消費生活センター等に寄せられるオンラインゲームに関する相談件数が年々増加している。

※未成年者が親のクレジットカードを無断で使ってトラブルになるケースも増加。

●有料オンラインゲームの支払方法

- ・クレジット、電子マネー
- ・携帯電話料金とともに支払う
(携帯電話会社の課金代行サービス)

●オンラインゲーム依存の主な原因

- ・欲しい時に簡単にダウンロードできる。
- ・家庭ゲーム機と比べ安上がりでゲームを楽しめるイメージがある。
- ・どこでもゲームすることができる。
- ・無料ダウンロードという表示。
(アイテム課金などの有料表示がない)
- ・スマートフォンの普及。
- ・ゲーム攻略に没頭。

●事例～A君の失敗～

満18歳の大学生Aが携帯電話のオンラインゲームで遊んでいたところ、親に無断でゲームの中のアイテムを購入してしまった。携帯電話の通話料金の請求書と共にゲームの利用料金(アイテム課金)10万円を請求されてしまった。



●防止策

利用者の防止策

- ・携帯契約会社に頼み利用限度額を設定する。(年齢にかかわらず)
- ・ゲームの仕組みを理解する。どれくらい課金しているのか自身で把握しておく。

利用者以外の防止策(親、保護者など)

- ・子どもとオンラインゲームの利用のしかたについて話し合う。
- ・携帯電話の暗証番号、クレジットカード番号は子供に知られないように管理する。

※請求額に不審があった場合には、まず請求元の(携帯・カード)会社に確認。

※納得のいかない場合には、早めに各地の消費生活センターに相談することが一番。

要するにオンラインゲームをする時は仕組みを理解すること!!



●未成年者が契約した場合

未成年者(満20歳未満の人)が、契約などの法律行為をする場合→親などの法定代理人の同意を得なければなりません。(ただし、単に権利を得、又は義務を免れる法律行為については、この限りではありません)

- ・未成年者が親の同意なしに行った契約は「未成年契約の取り消しの効果によって契約を無効にできる」といった場合があります。
- ・取り消しをすると、代金支払の義務はなくなります。(未成年者が支払った代金があれば、返還請求できます)

★未成年者が何でも未成年取り消しを使えるとは限らない。

- ・小学生と大学生とでは対応が異なる。
- ・個々のケースやゲーム会社により、対応が異なる場合がある。